

【公募型】 令和 2 年度 客員研究員 研究報告書

滋賀大学経済経営研究所

| | | |
|-----|--------------------|------------------|
| 氏 名 | 氏名 (ふりがな) | 所属学科・職名 |
| | はたけなか けんじ 畠中 賢治 | 大阪大学経済学研究科博士後期課程 |

| | |
|------------------------------|---|
| 期 間 | 令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日 |
| 調査・研究のテーマ | 株式市場の寄付前後における価格発見について |
| 研究成果の概要 (中間成果も可) | <p>本研究では、株式市場の取引開始前(寄前)における価格発見の進行を 1 日分の日中時系列データから推定する手法について紹介し、それを用いた実証研究を行った。本手法では、部分調整モデルの調整係数を時变的なパラメータに拡張したモデルを状態空間モデルとして扱うことで一つの時系列データから推定が可能となる。本モデルの調整係数の推定により、各時点において価格調整がどの程度正確であるか、新情報への反応が過大であるか過少であるかを判断することができる。実証研究の結果から、寄付前後においてどのように価格発見が進行するかが、日次における大きなバラつきが分析対象期間で見られた。この結果は既存の推定手法では得られない結果である。今後の課題として、推定手法のシミュレーションによる評価や、推定精度の向上を目的とした手法のさらなる拡張が挙げられる。</p> |
| 研究成果発表の計画 (学会報告及び学術誌への投稿) | <p>本研究で提案した手法に基づき、海外学会での報告を予定している。また、同内容の論文を執筆中であり、近日中に海外学術誌に投稿予定である。</p> |